

1. 平成 19 年度 技術委員会ワーキンググループ成果・事例発表会

(平成 19 年 11 月 9 日 プラザ菜の花)

—会長挨拶—

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社
の津上昌平と申します。よろしくお願いたします。

本日これから開催されます平成 19 年度技術委員会ワーキンググループ成果発表会及び、
第 20 回技術事例発表会の開会に当り一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。
また、ご来賓といたしまして、千葉県計量検定所企画指導課より塚本課長様、木口様、
社団法人日本環境測定協会の岡崎技術部長様他、財団法人千葉県薬剤師会検査センター
の田中様にご出席いただいております。協会を代表して厚く御礼申し上げます。

また、お忙しい中、今回技術事例発表をお引き受けいただいた 5 事業所の会員の方々、
技術委員長をはじめ各ワーキンググループの成果発表を担当される、委員の方々にも深
く感謝申し上げる次第でございます。

さて、最近連日マスコミ等で製品のデータに関する改ざんや虚偽の報告、企業または
組織としての顧客サイドへの不誠実な対応など、企業の社会的責任や技術者の倫理その
ものを問われる事案が数多く報道されています。様々な環境データを取り扱う上では、
目的に応じた調査を行い、それらを正しく解析して、リスク評価につなげていくことが、
我々環境計量証明事業者としても、今後ますます重要になるものと考えております。

本協会も昨年で設立 30 周年の節目を迎え、次なる 40 周年、50 周年に向けて今年度よ
り新たな気持ちで活動しております。

本日これより開催されますワーキンググループ成果発表会、技術事例発表会は、千環協
の設立当時より毎年開催しております大変重要な行事の一つであります。

会員の皆様にご協力いただいた、各種アンケートや共同実験の結果報告、また各社での
新しい技術への取り組みの紹介など、今年も盛りだくさんな内容の発表がこれから行わ
れます。最新の技術情報の入手や各種精度管理技術の習得、また、会員相互の情報交換
の場としても、大いに活用していただきたいと思います。また、発表会終了後に予
定されております会員各社の交流のための情報交換会も含め、有意義な会となりますよ
う本日ご参加いただきました皆様のご協力をお願いいたします。

以上簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。